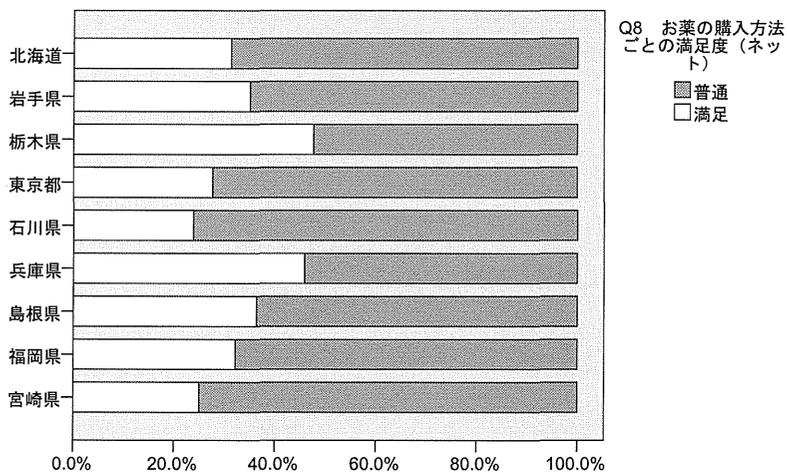
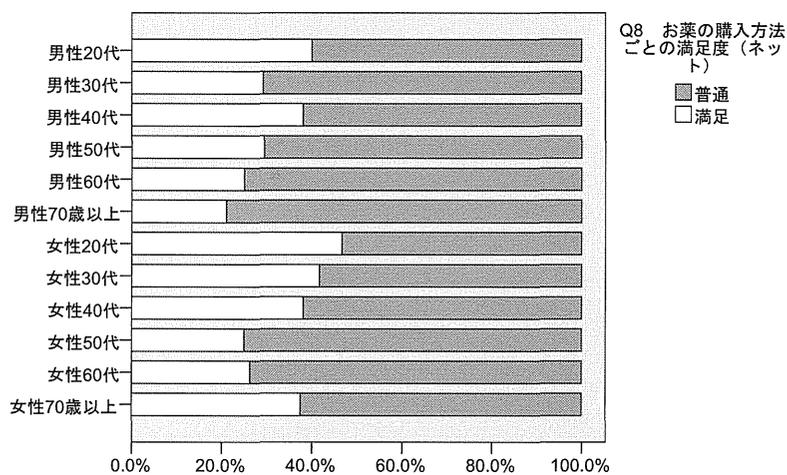
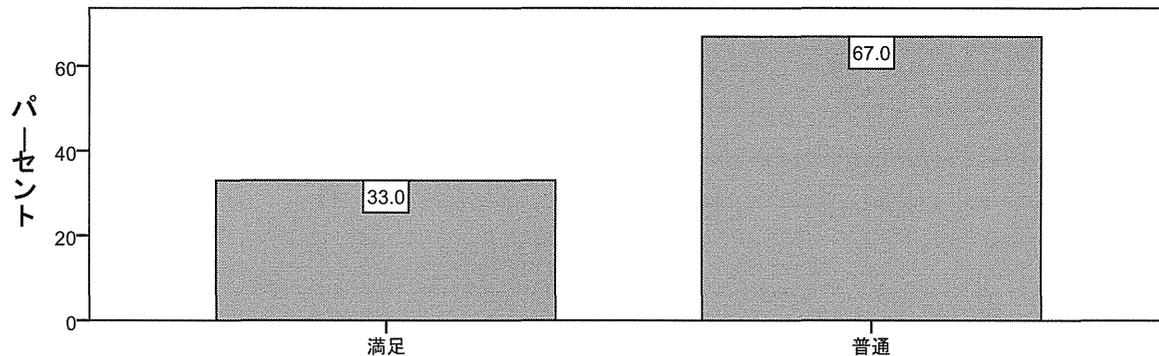


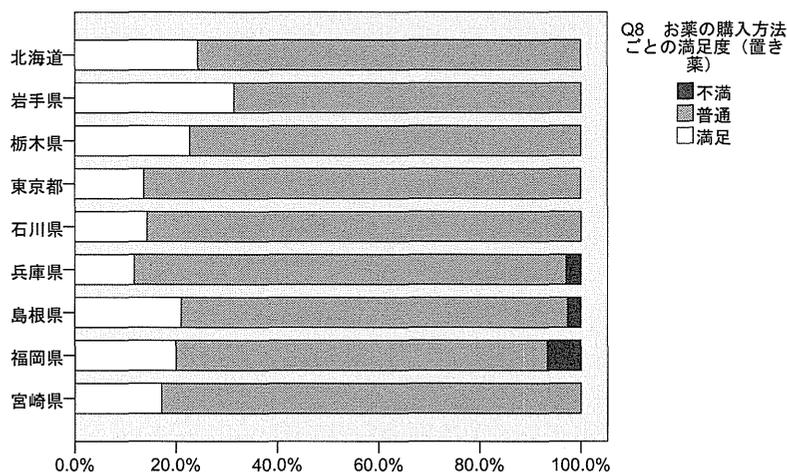
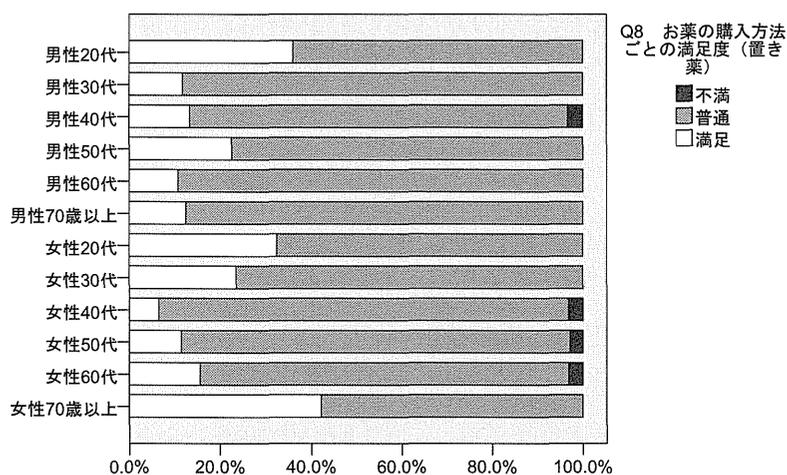
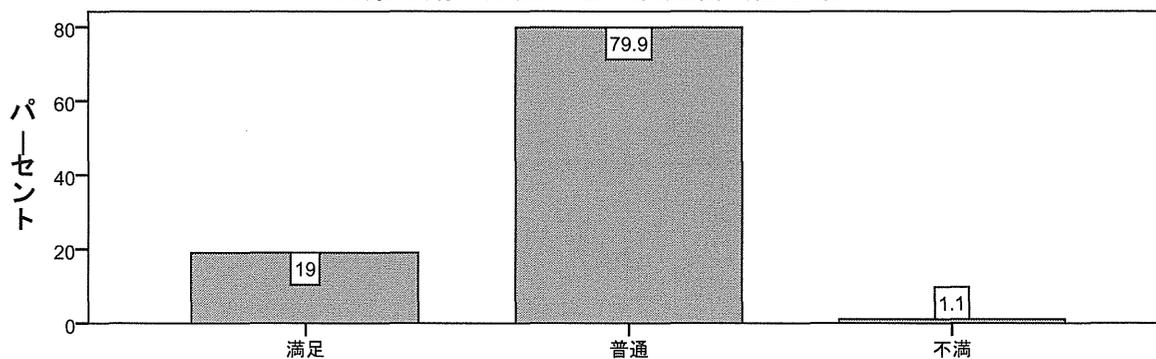
Q8 お薬の購入方法ごとの満足度（ネット）

度数	有効	227
	欠損値	953

Q8 お薬の購入方法ごとの満足度（ネット）



Q8 お薬の購入方法ごとの満足度（置き薬）



不満な理由_置き薬

	度数
いつも突然に集金に来る	1
高い	1
値段が高い気がする	1

資料3

薬局における一般用医薬品の取り扱いに関する実態調査

1. 結果の概要
2. 集計結果
3. 調査票

1. 結果の概要

配布と回収数

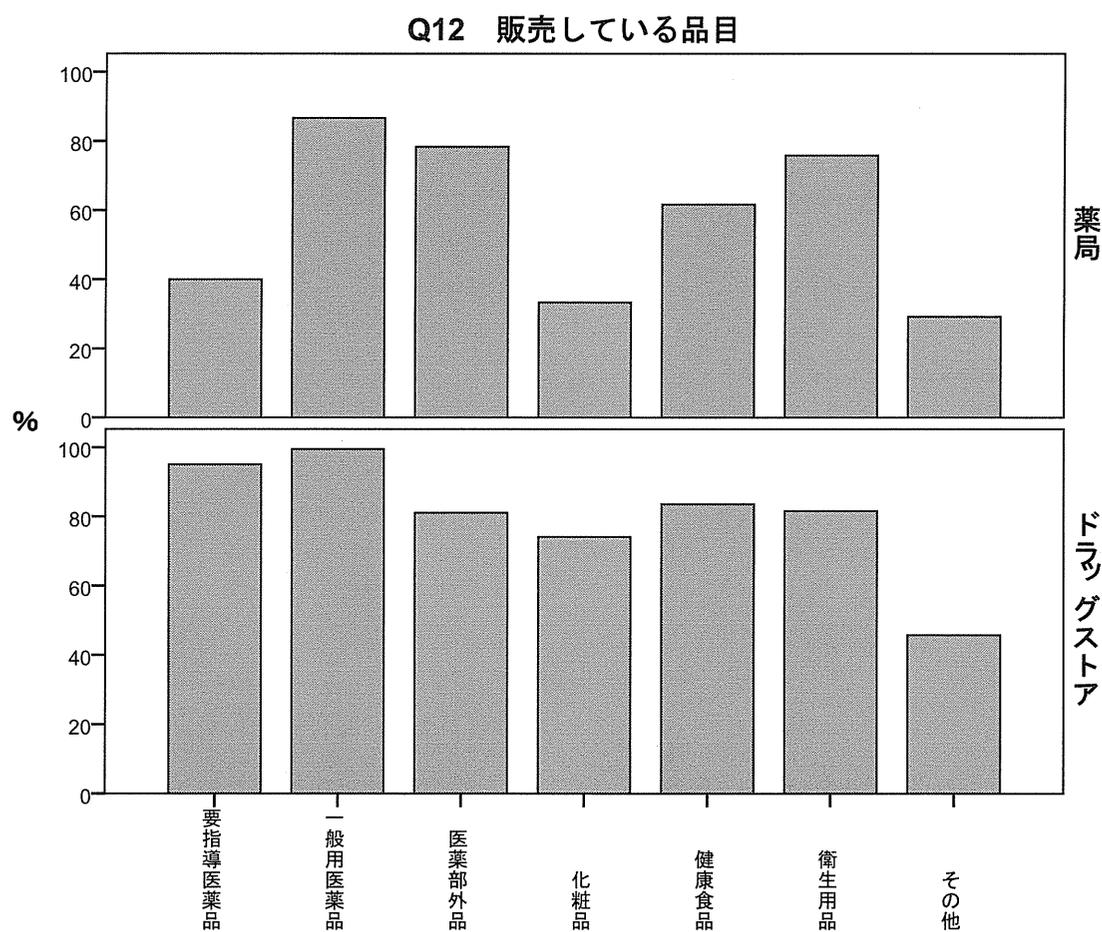
		配布数	回収数	回収率
有効	秋田県	20	14	70%
	宮城県	20	13	65%
	栃木県	20	18	90%
	群馬県	20	12	60%
	奈良県	20	12	60%
	広島県	20	20	100%
	高知県	20	17	85%
	宮崎県	20	16	80%
	合計	160	122.0	76.25%
	ドラッグストア	-	203	-
欠損値	システム欠損値		4	
合計			329	

2. 集計結果

(1) 解析対象の特徴

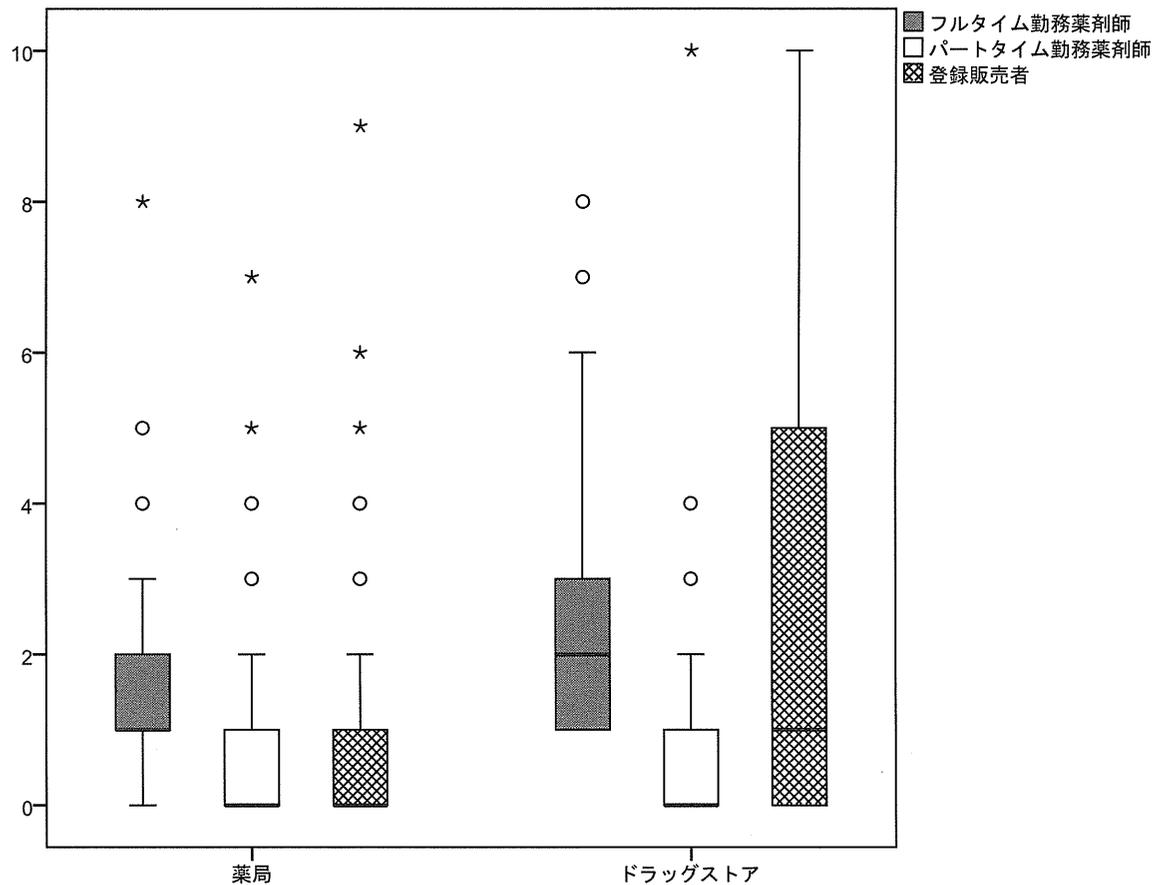
薬局・販売業の種類と薬局/ドラッグストア

薬局・販売業の種類	薬局	薬局/ドラッグストア		合計
		薬局	ドラッグストア	
	薬局	107	85	192
		87.7%	42.3%	59.4%
	店舗販売 / 併設	15	116	131
		12.3%	57.7%	40.6%
合計		122	201	323
		100.0%	100.0%	100.0%



勤務している薬剤師及び登録販売者数

薬局／ドラッグストア		フルタイム勤務薬剤師	パートタイム勤務薬剤師	登録販売者
薬局	平均値	1.72	.94	.58
	標準偏差	1.12	1.42	1.34
	度数	122	118	115
ドラッグストア	平均値	2.21	.65	2.17
	標準偏差	1.46	1.18	2.51
	度数	201	201	201
合計	平均値	2.02	.76	1.59
	標準偏差	1.36	1.28	2.29
	度数	323	319	316



勤務している薬剤師及び登録販売者数

(2) 店舗での販売状況

Q1 要指導医薬品を販売していますか

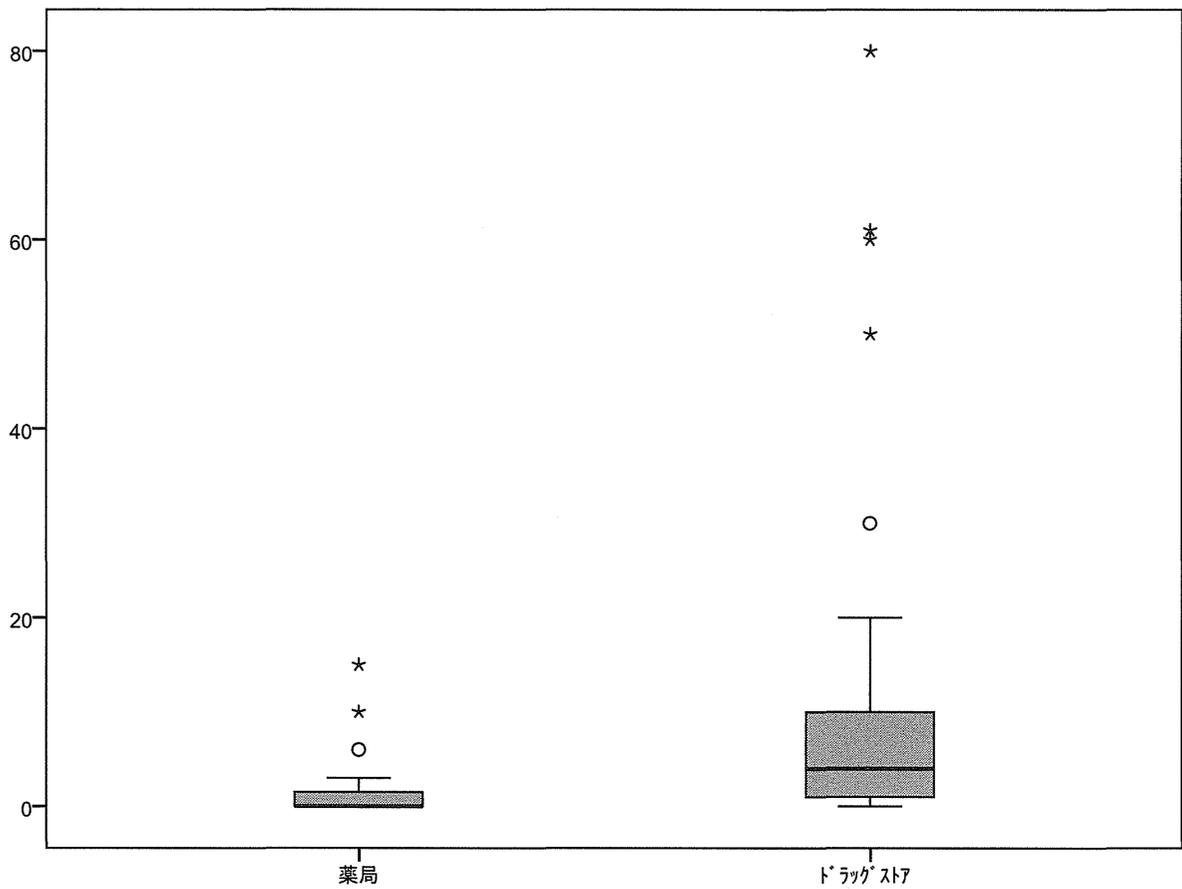
		薬局／ドラッグストア		
		薬局	ドラッグストア	合計
Q1 要指導医薬品を販売 していますか	はい	47	192	239
		39.2%	95.0%	74.2%
	いいえ	73	10	83
		60.8%	5.0%	25.8%
合計		120	202	322
		100.0%	100.0%	100.0%

Q2 何種類の要指導医薬品を扱っていますか

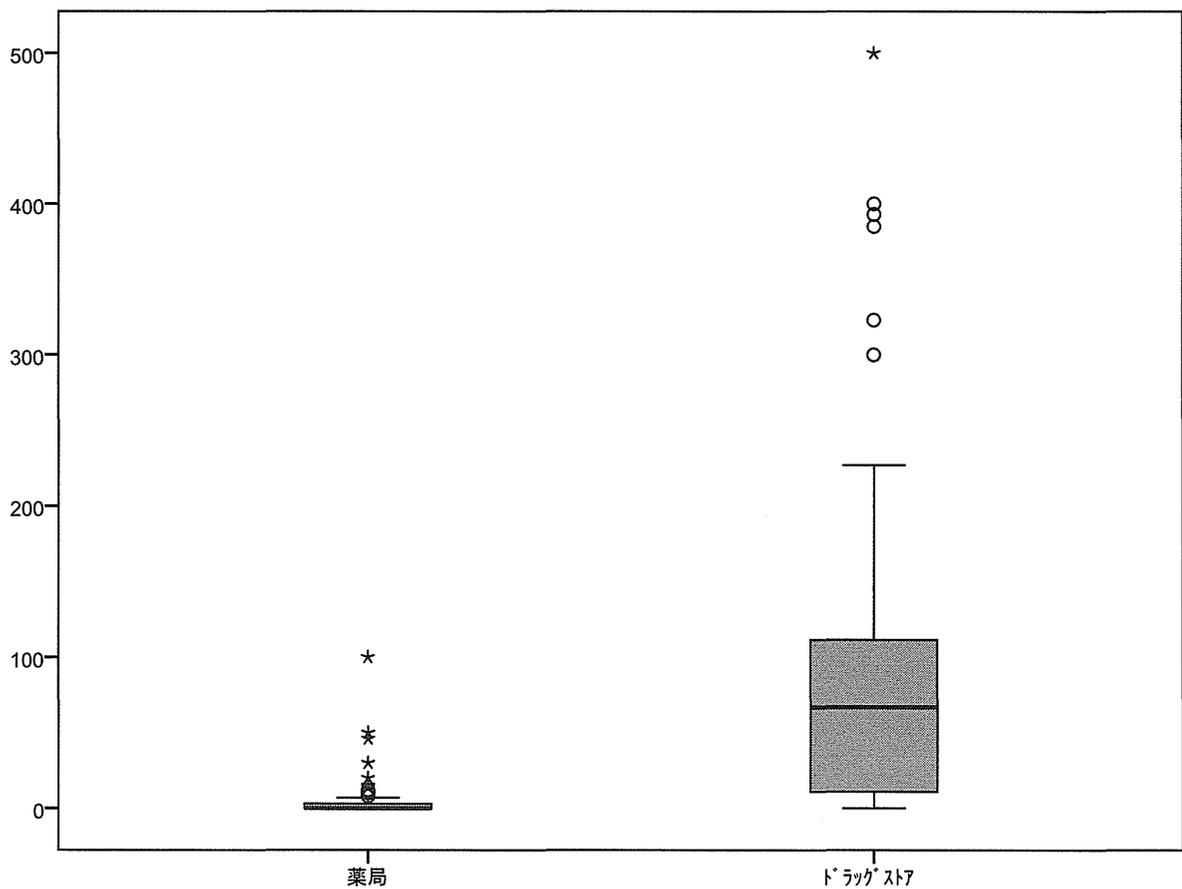
		薬局／ドラッグストア		
		薬局	ドラッグストア	合計
Q2 何種類の要指導医薬 品を扱っていますか	全品目	0	2	2
		.0%	1.1%	.9%
	ほとんどの品目	4	89	93
		9.3%	48.1%	40.8%
	数品目	39	94	133
		90.7%	50.8%	58.3%
合計		43	185	228
		100.0%	100.0%	100.0%

Q3 店舗販売数

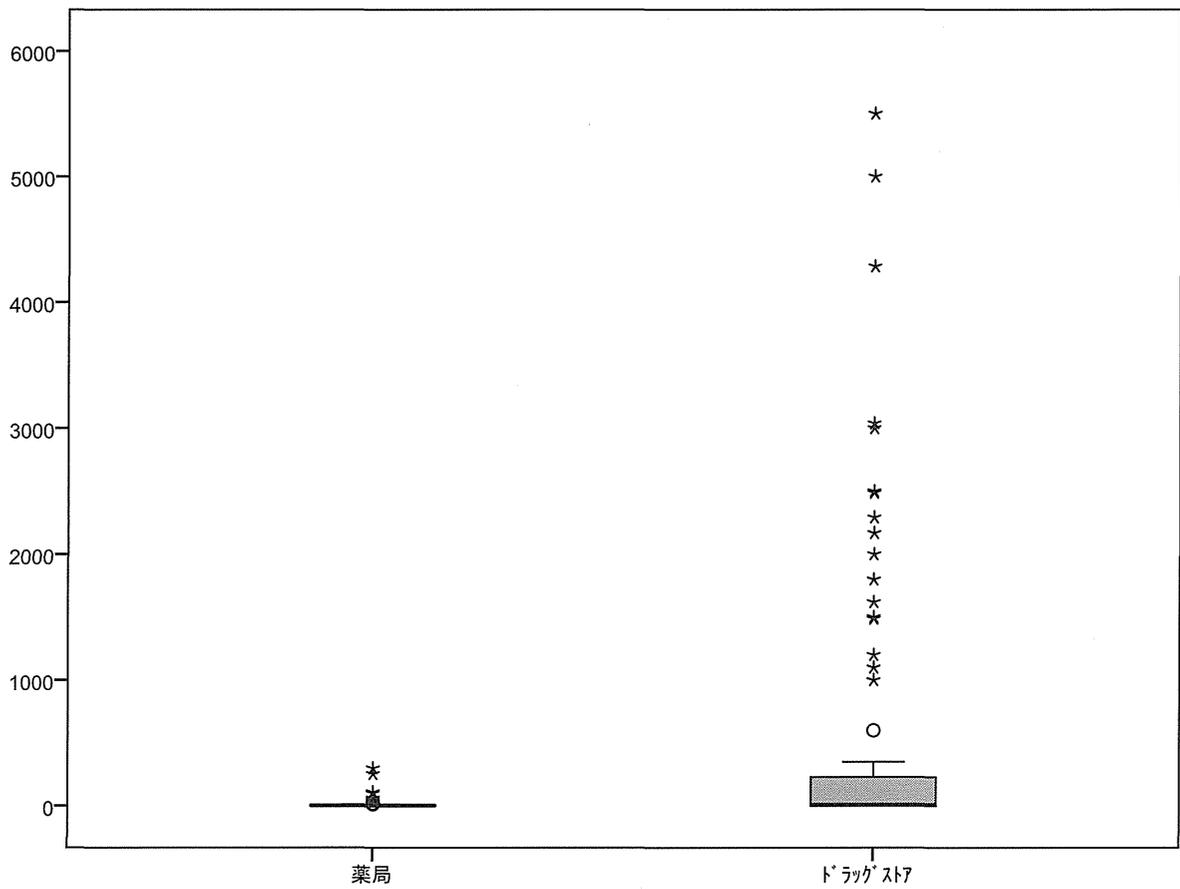
薬局／ドラッグストア		Q3 店舗で販 売した要指導 医薬品数（平 成26年12月）	Q3 店舗で販 売した第1類 医薬品数（平 成26年12月）	Q3 店舗で販 売した第2類 医薬品数（平 成26年12月）
薬局	平均値	1.27	4.59	15.44
	標準偏差	2.94	12.87	43.49
	度数	40	95	99
ドラッグストア	平均値	7.46	79.49	429.40
	標準偏差	10.78	81.59	970.95
	度数	184	196	135
合計	平均値	6.36	55.04	254.26
	標準偏差	10.13	75.94	764.84
	度数	224	291	234



要指導医薬品の店舗販売数



第1類医薬品の店舗販売数



第2類医薬品の店舗販売数

Q4 店舗販売で、消費者への説明に要した平均時間（要指導医薬品）

		薬局／ドラッグストア		合計
		薬局	ドラッグストア	
Q4 店舗販売で、消費者への説明に要した平均時間（要指導医薬品）	10～20分	2	0	2
		5.9%	.0%	.9%
	5～10分	11	33	44
		32.4%	17.9%	20.2%
	1～5分	21	142	163
	61.8%	77.2%	74.8%	
	1分未満	0	9	9
		.0%	4.9%	4.1%
合計		34	184	218
		100.0%	100.0%	100.0%

Q4 店舗販売で、消費者への説明に要した平均時間（第1類医薬品）

		薬局／ドラッグストア		合計
		薬局	ドラッグストア	
Q4 店舗販売で、消費者への説明に要した平均時間（第1類医薬品）	10～20分	1	0	1
		1.6%	.0%	.4%
	5～10分	17	22	39
		27.9%	11.1%	15.0%
	1～5分	40	156	196
	65.6%	78.4%	75.4%	
	1分未満	3	21	24
		4.9%	10.6%	9.2%
合計		61	199	260
		100.0%	100.0%	100.0%

Q4 店舗販売で、消費者への説明に要した平均時間（第2類医薬品）

		薬局／ドラッグストア		合計
		薬局	ドラッグストア	
Q4 店舗販売で、消費者への説明に要した平均時間（第2類医薬品）	30分以上	1	0	1
		1.2%	.0%	.4%
	10～20分	1	0	1
		1.2%	.0%	.4%
	5～10分	8	15	23
		9.3%	9.3%	9.3%
	1～5分	63	112	175
		73.3%	69.6%	70.9%
	1分未満	13	34	47
		15.1%	21.1%	19.0%
合計		86	161	247
		100.0%	100.0%	100.0%

Q5 要指導医薬品について、消費者への情報提供・説明の結果、販売しなかったことがありますか

		薬局／ドラッグストア		合計
		薬局	ドラッグストア	
Q5 要指導医薬品について、消費者への情報提供・説明の結果、販売しなかったことがありますか	あった	9	72	81
		20.5%	37.5%	34.3%
	なかった	35	120	155
		79.5%	62.5%	65.7%
合計		44	192	236
		100.0%	100.0%	100.0%

Q5 要指導医薬品について、消費者への情報提供・説明の結果、販売しなかったことがありますか（件数）

薬局／ドラッグストア	平均値	標準偏差	度数
薬局	1.78	1.39	9
ドラッグストア	3.01	2.71	67
合計	2.87	2.61	76

Q5 要指導医薬品について、消費者への情報提供・説明の結果、販売しなかったことがありますか（概要）

	度数
15歳未満であったため	1
アクチビア等病院受診確認できなかった。（再発が確認できなかったので）	1
アクチビア軟膏で、以前口唇ヘルペスの診断がなされないお客様	1
アレグラ→皮膚症状	1
アレグラ→皮膚症状（アレルギー性）2件 / ルミフェン→片頭痛 1件	1
アレグラFX：授乳中で授乳をさせたくないという要望だったため	1
アレグラのアレルギー性鼻炎以外への使用目的	1
アレグラ希望の方、併用薬に抗アレルギー薬の使用を確認したため	1
アレジオン・アレグラを説明した時、肝機能障害があり販売しなかった / 口唇ヘルペスで診断されたことがない	1
アンチスタックス：血液凝固阻止剤 服用中 / エパデールT：中性脂肪値が境界域未満	1
アンチスタックス むくみが主訴で来局、聞き取りの結果、高血圧、心臓の薬を病院で服用中であったために不適と判断し販売には至らなかった	1
アンチスタックス 足のむくみを改善 患者様が足だけでなくむくみとお話になったため	1
アンチスタックス 病院での治療中だったため	1
アンチスタックスをお求めのお客様。循環器の薬を服用していたため、販売しなかった。	1
アンチスタックスを説明した結果、抗血小板剤を服用していたため / アレグラを説明した結果、制酸剤を服用していたため	1
エパデールの服用可能条件を満たしていなかった場合 / 再発でない口唇ヘルペスの場合（1類）	1
エパデール、処方剤も飲んでいたため	1
エパデールT：検査値が該当せず、受診を勧めた / アンチスタック：受診を勧めた（既に治療中だったため）	1
お手帳（薬）を見せて頂いたら同じような効果だと思われたので必要ないかと思い、販売しませんでした。	1
ニコチンパッチ、禁煙を数日続けていて煙草を吸っていない / 口唇ヘルペス 医師の診断無 / カンジタ症状が繰り返し多いため受診勧奨	1
ヘルペシア 病院の診断追記になし	1
ヘルペスと診断されていない方（ヘルペシア等）	1
ヘルペスの薬を購入しに来たがヘルペスでの病院受診歴がなかった事例が3件	1
ルミフェン、エパデールの説明には納得したが値段が高いため	1
ルミフェンについて。病院から同効薬のセレコックスを処方され服用中のため	1
ロキソニン希望	1
ロキソニン希望 PLでじんましんが出たことがあると聞いたため売らなかった	1
胃潰瘍治療中の患者に説明してロキソニンの販売を中止して医療機関に相談するようにした	1
医院に受診中で同系統の薬剤を服用中であった / 症状重く、平日でもあり受診を勧めた	1
咳が続いていた。喘息歴あり / 胃の痛み	1
既に高血圧治療中（アンチスタックス） / 本人ではなく併用薬・症状があいまいで / PPI服用中でガスター	1
口唇ヘルペス外用薬で病院未受診のかた	1
抗アレルギー剤を皮膚症状のため購入希望 / 医療機関よりアレルギー剤が処方されていないのにアレグラを購入に来た / 本人でない者が購入に来た	1
抗がん剤投与中の育毛剤のリアップ / 通院中におけるエパデールの販売	1
抗血小板剤又は抗凝血剤で治療を受けている方でしたので。	1
購入しに来たお客様が。服用する人が本人ではなく、販売できなかったため。	1
購入者がご本人でない為	1
購入者が本人でない / 使用が適切でない	1
購入者が本人でなかった	1
使用できないお客様でした	1
使用できない項目に当てはまったため	1
使用者本人以外の方の購入の為	1
使用者本人以外の来店	1
子どもにアレグラを購入しようとしたケース	1
自己判断により購入・服用を行おうとしていたが、症状の聞き取りから受診を勧め、帰宅された	1
初めてのヘルペス？に対して口唇ヘルペス再発治療薬 / 皮膚の痛みに対してアレグラ等を販売せず	1
症状から受診が必要な方 / 重複服用が疑われる方	1
症状が服用要件に当てはまらなかった為	1
情報提供・説明が面倒だと買わずに帰った	1
説明の結果、2類を購入された。いつも服用してる方を選んだため	1
前立腺肥大あり、葛根湯を販売せず	1
相談者が本人でないため	1
他科の診察で同効薬を処方されていた	1

Q5 要指導医薬品について、消費者への情報提供・説明の結果、販売しなかったことがありますか（概要）

	度数
代理の方で本人でなかったため	1
透析患者へのロキソニン販売 / 口唇ヘルペスの初回 / お薬手帳持参によりガスターの重複確認 / 膣カンジダ再発が2ヵ月以内であった	1
同種同効薬併用、「してはいけないこと」該当	1
年齢が15歳未満 / 本人が使用しない	1
年齢制限、医師の治療が必要と思われるため	1
皮膚症状でアレグラをお買い求めの方に販売するのをお断りしました / ニコチンパッチを使用の方、必要回数を超えて継続使用し、ニコチン中毒も疑われる方に販売をお断りしました。	1
微熱（＋）、鼻水（＋）、緑内障の治療中、お薬手帳なし、年齢60歳以上、従って、抗ヒスタミン、総合感冒薬の販売は禁忌、慎重と思い、医療機関の受診を勧めた	1
病院からの処方薬との相互作用、または、同効薬を既に使用しているなどにより受診勧奨した。	1
病院での処方の重複等	1
病院で同効薬を既に服用していたケース	1
病院に普段かかっている方、お医者様に話すように伝えた	1
病院未受診（アクチビア・エンペンドなど） / 本人ではなかった / 併用薬あり / 体調不適	1
服用してはいけない疾患があったため	1
服用しないでくださいの項目にあてはまった	1
併用薬の飲み合せ / 口唇ヘルペスの未受診のため	1
併用薬の確認により受診勧奨した	1
本人でないため	3
本人でなかった	2
本人以外がアレグラFXを買いに来た。アレグラFXを2個買おうとしたので断った	1
本人確認の際、来局者が服用者でなかったため	1
本人使用ではなかった為	1
本人来局なしで詳細わからず販売不可 / 病態により販売不可	1
膣カンジダ再発治療薬、口唇ヘルペス再発治療薬で、診断・治療を受けたことがないという方に販売しませんでした。	1
合計	79

(3) ネット販売の状況

Q6 ネット販売した第1類
医薬品数（平成26年12月）

度数	有効	2
	欠損値	327

Q6 ネット販売した第1類医薬品数（平
成26年12月）

度数	
1	1
8	1
合計	2

Q6 ネット販売した第2類
医薬品数（平成26年12月）

度数	有効	2
	欠損値	327

Q6 ネット販売した第2類医薬品数（平
成26年12月）

度数	
50	1
94	1
合計	2

Q7 ネット販売で、消費者への説明に要し
た平均時間（第1類医薬品）

度数	
1～5分	1
10～2…	1
合計	2

Q7 ネット販売で、消費者への説明に要
した平均時間（第2類医薬品）

度数	
1分…	1
1～5分	1
合計	2

(4) 健康被害の連絡

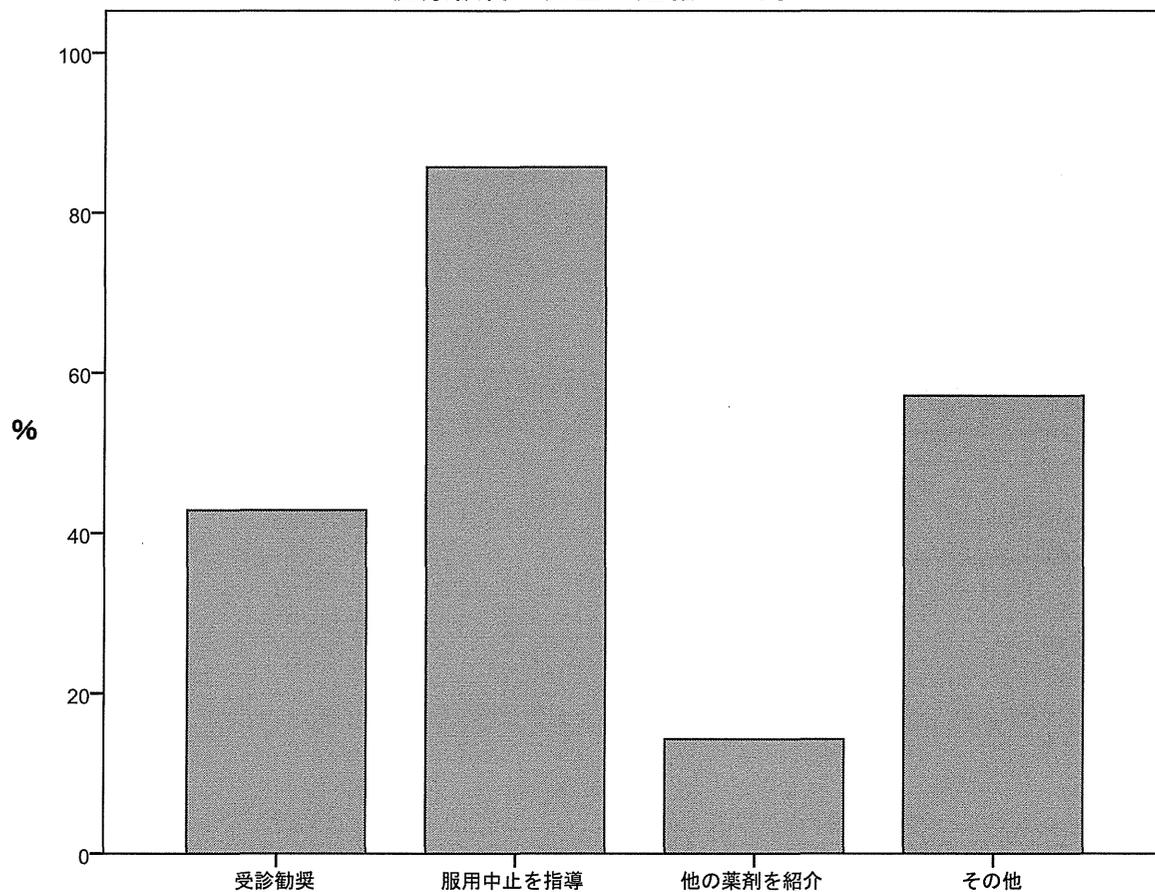
Q8 販売した医薬品による、健康被害の発生の連絡

		薬局／ドラッグストア		合計
		薬局	ドラッグストア	
Q8 販売した医薬品による、健康被害の発生の連絡	あった	1 1.2%	6 3.7%	7 2.8%
	なかった	84 98.8%	157 96.3%	241 97.2%
合計		85 100.0%	163 100.0%	248 100.0%

Q8 販売した医薬品による、健康被害の発生の連絡（件数）

薬局／ドラッグストア	平均値	標準偏差	度数
薬局	1.00	.	1
ドラッグストア	1.20	.45	5
合計	1.17	.41	6

Q8 健康被害の発生の連絡への対応



その他の内容（健康被害の発生連絡への対応）

	度数
かぶれ予防策の説明	1
胃薬併用を勧める	1
時間が経って既に良くなってから状態を聞いた。同じ薬を服用しないよう指導。	1
服用方法の再確認、適切に使用しても症状が起こるのであれば中止を指導	1

3. 調査票

医薬品の販売に関する実態調査

- 【回答方法】 ・ご回答は、主に管理薬剤師の先生方をお願いいたします。
【返送先】 ・調査票のご記入が終わりましたら下のFAX番号にご送付をお願いします。

FAX : 048-469-2677

【締め切り】 平成27年3月20日（水曜日）

【問合せ】 国立保健医療科学院 統括研究官 今井博久研究室 事務局 TEL 048-458-6168(月～金:10時～17時)

問1 貴店では、要指導医薬品を販売していますか？

1. 販売している → 問2以下の設問にお答えください
2. 販売していない → 問3以下の設問にお答えください

問2 問1で「1」とお答えの方にお尋ねします。
貴店では、何種類の要指導医薬品を扱っていますか。

1. 全品目 2. ほとんどの品目 3. 数品目 4. 取扱い無し

問3 [店舗における販売状況についてお聞きします]
貴店では、平成26年12月に要指導医薬品、第1類医薬品、第2類医薬品を何個消費者に店舗で販売しましたか？

(要指導医薬品： 個/月) (第1類医薬品： 個/月) (第2類医薬品： 個/月)

問4 [店舗における販売状況についてお聞きします]
一人の消費者への要指導医薬品、第1類医薬品、第2類医薬品の説明に要した時間は、平均どのくらいかかりましたか？ 該当する番号を()に記入してください。

1. 1分未満 2. 1～5分未満 3. 5～10分未満
4. 10～20分未満 5. 20～30分未満 6. 30分以上

(要指導医薬品：) (第1類医薬品：) (第2類医薬品：)

問5 [店舗における販売状況についてお聞きします]
要指導医薬品について、消費者への情報提供・説明の結果、販売しなかったことがありましたか？(該当の選択肢に○をつけ、件数と概要を記載してください)

・あった (件) ・なかった

概要

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
	該当なし						

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
	該当なし				

研究成果の刊行物・別刷

該当なし